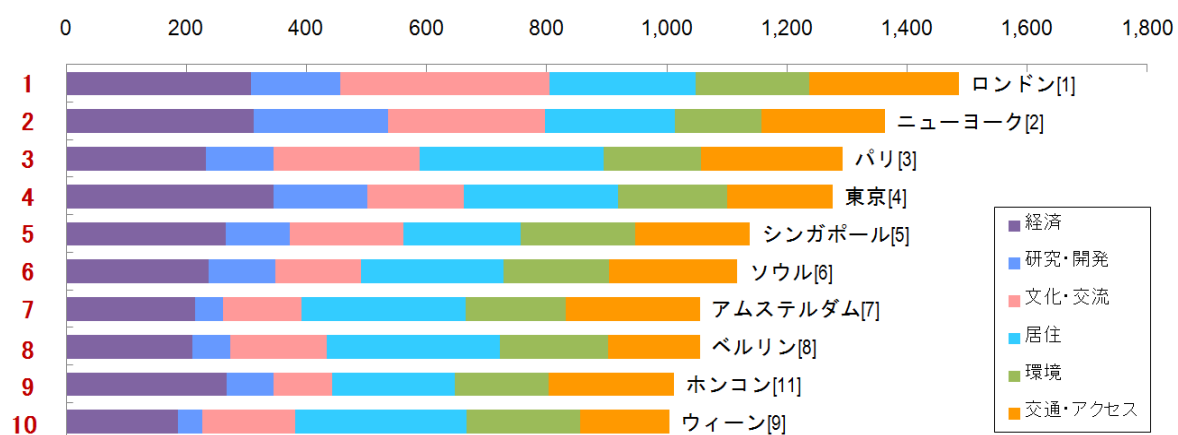


**世界の都市総合ランキング「Global Power City Index-2014」  
2014年版 発表**

一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所(所長:竹中平蔵)が、2008年より調査・発表している「Global Power City Index」(GPCI)の2014年版がまとまりましたのでお知らせいたします。本ランキングは世界の主要40都市を対象に、都市の総合力を評価している日本初のランキングで、国や都の政策評価としても活用されています。

本年度の総合ランキング上位に大きな変動はなかったものの、ロンドンが躍進し2位との差をさらに拡大。4位の東京は、外国人旅行者数の増加などにより文化・交流分野において順位を向上させています。

**2014年 総合ランキング結果(上位10都市) ※詳細は次ページ以降をご覧ください。**



※[ ]内の数値はGPCI-2013のランキング

**2014年版のポイント**

- ・昨年に引き続き、総合ランキングで1位となったロンドンは、さらにスコアを伸ばし、2位のニューヨークとの差を拡げた。

ロンドンでは経済分野と居住分野におけるスコアをさらに改善し、他の分野でも高水準を維持した。最も強みとしている文化・交流分野では、海外からの訪問者数、美術館・博物館数などの指標を伸ばしたことで、その地位を盤石なものにしつつある。

- ・東京は昨年に引き続き4位となったが、弱みであった文化・交流分野においては8位から6位へと上昇した。これは、外国人旅行者数の大幅な増加等によるものである。

2013年には東京における外国人旅行者数が680万人を超え、海外からの訪問者数が向上したことに加え、国際コンベンション開催件数、ユネスコ世界遺産、ハイクラスホテル客室数などの指標も東京のスコアを押し上げたといえる。東京は、「市場の魅力」や「交通利便性」などの指標グループにおいて弱みを抱えているが、今後は五輪開催を契機とした都市力向上の動きが期待されており、将来的に総合ランキング3位のパリを抜く可能性がある。

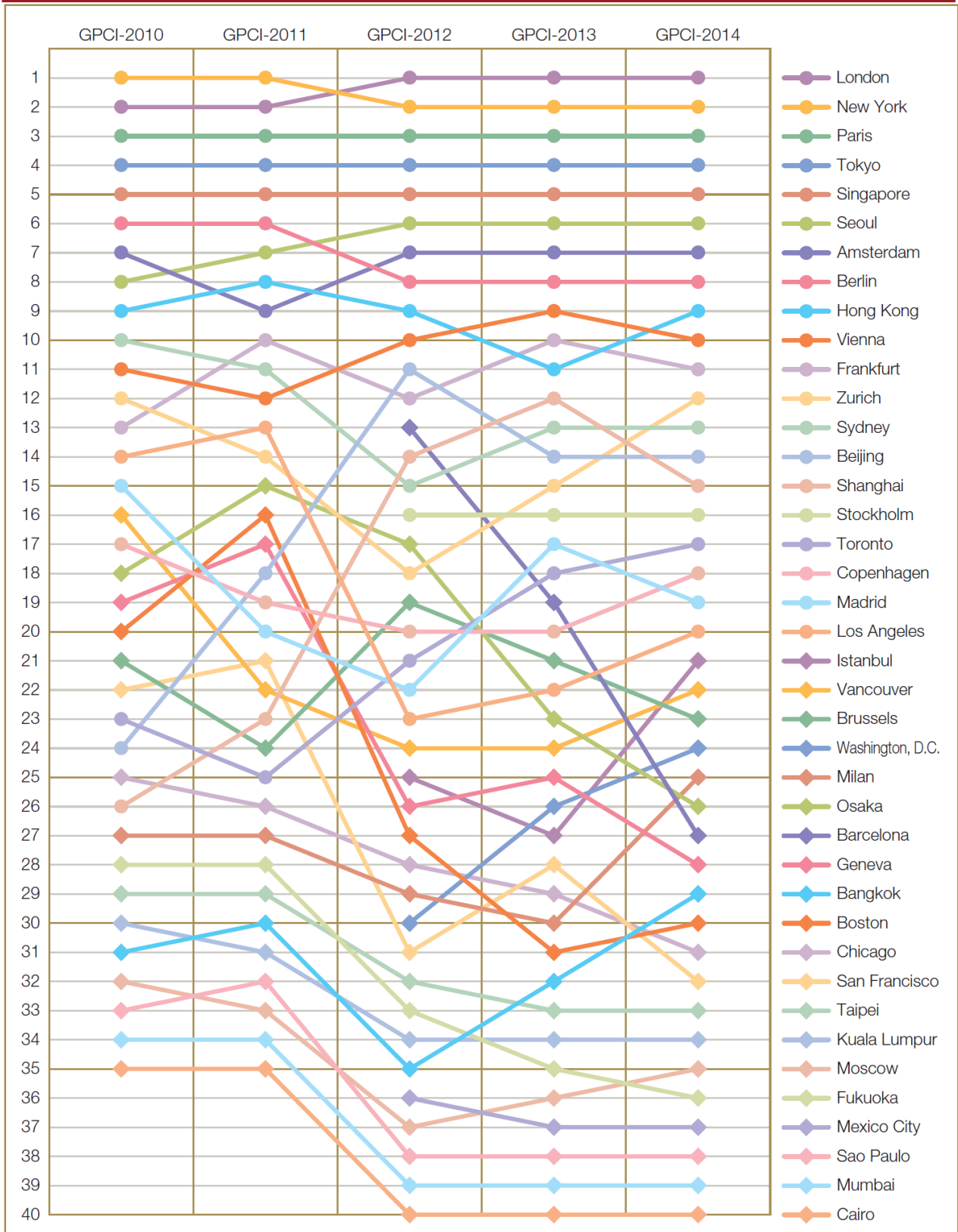
- ・総合ランキング上位のシンガポール(5位)とソウル(6位)が、いずれも昨年に続きスコアを上昇、東京(4位)との差を縮めた。

シンガポールはコンテンツ輸出額、ソウルはユネスコ世界遺産の指標を伸ばすなど、両都市ともに、文化・交流分野のスコアが上昇している。

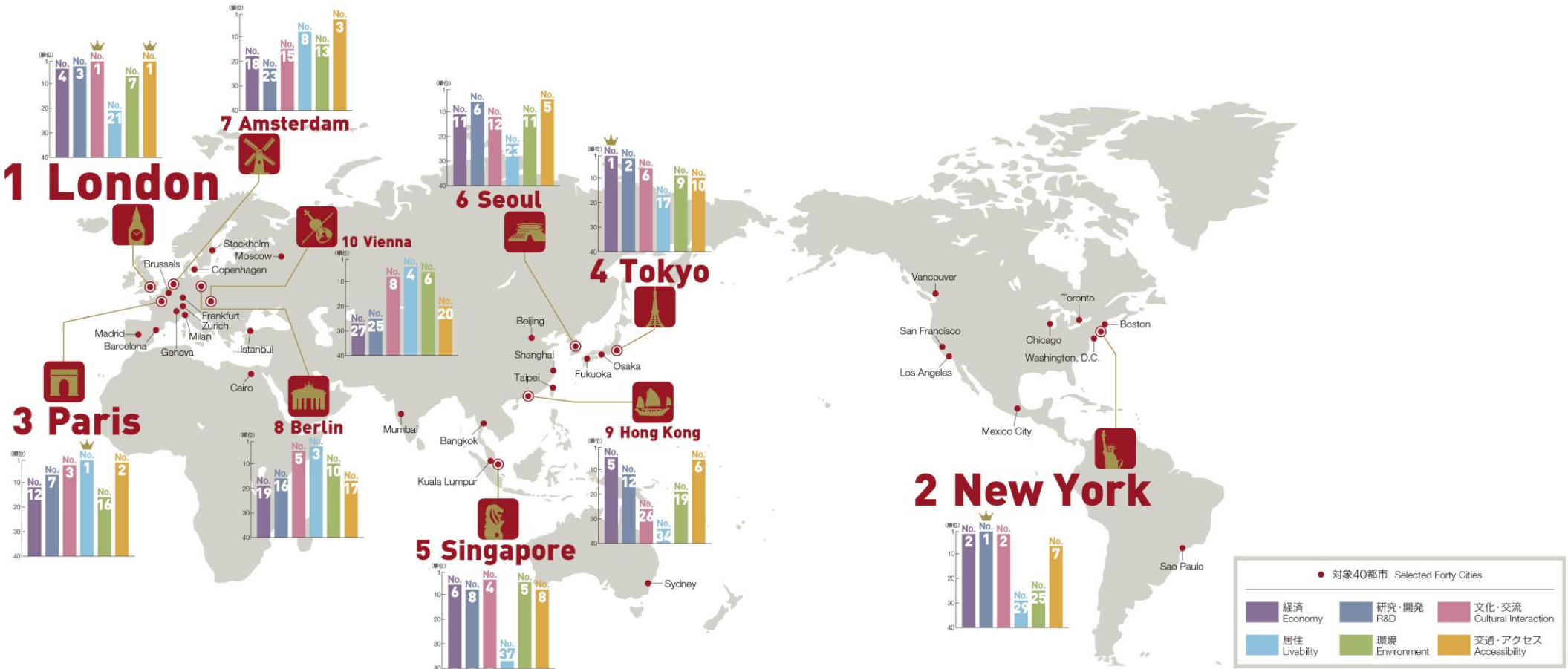
- ・今年初めて調査した都市の「感性価値(人の感性に訴える力)」を加味したランキング(GPCI+)では、東京が総合ランキングで3位となった。

東京は、感性価値指標である公共の場における安心感、住民の親切さ、国際空港の定時運航率、移動の快適性に関して高い評価を得た。これは、東京が安全・安心の面で優れていることや、「おもてなし」の言葉に代表されるようなホスピタリティ、また、公共交通の正確性が優れていることを示しているといえる。

総合ランキングの変動 (GPCI-2010~2014)



1 GPCI-2014 トップ10都市における分野別順位グラフ



## 2 東京の強み・弱み

東京の強み (65以上)		トップ3都市に比べて 東京がやや弱い (50以上65未満)		東京の弱み (50未満)	
分野	指標グループ	分野	指標グループ	分野	指標グループ
経済	市場の規模	経済	ビジネス環境	経済	市場の魅力
	経済集積	文化・交流	交流・文化発信力	文化・交流	法規制・リスク
	人的集積		集客施設		集客資源
研究集積	受入環境		居住		居住コスト
研究・開発	研究環境	居住	交流実績	環境	自然環境
	研究開発成果		就業環境	交通・アクセス	国際交通ネットワーク
	生活利便性		安全・安心		交通利便性
交通・アクセス	都市内交通サービス	生活環境			
		環境	エコロジー		
			汚染状況		
		交通・アクセス	国際交通インフラキャパシ ティ		

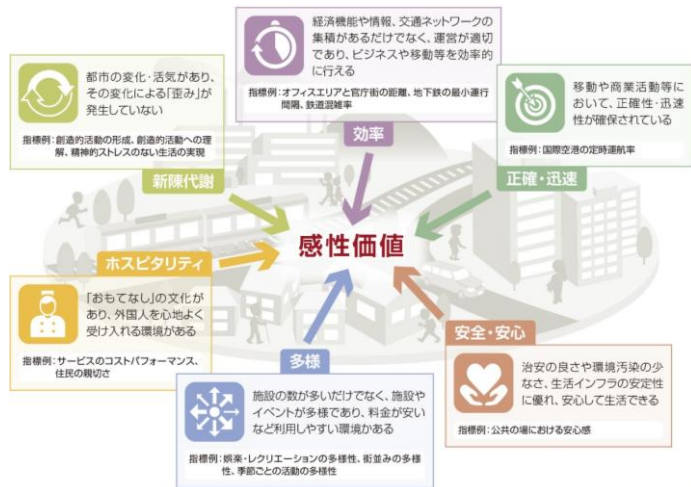
## 3 変動があった東京の主な指標と、今後の成長可能性

これまで弱みとなっていた文化・交流分野において「海外からの訪問者数」等で指数が上昇。日本再興戦略等でも様々な関連目標が掲げられており、東京は今後もさらに成長する可能性がある。

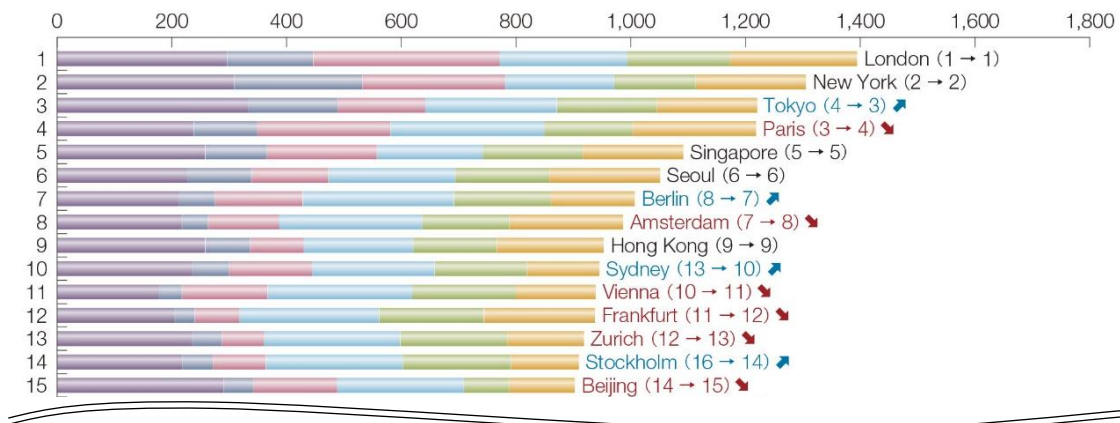
分野・指標	GPCI-2013	GPCI-2014	今後の可能性 (日本再興戦略等の記載内容※)
経済分野 法人税率	38.01% (指数:8.5)	35.64% (指数:34.4)	法人実効税率の見直し(20%台)
研究・分野 数学・科学に関する学力	1,068点 (指数:72.1)	1,083点 (指数:72.3)	公立学校運営の民間開放、国際的な 英語試験の活用、意欲と能力のある 若者全員への留学機会の付与等
文化・交流分野 海外からの訪問者数	409.8万人 (指数:24.4)	681.2万人 (指数:38.8)	入管手続きの簡素化、首都圏空港の 発着枠増(75万回から8万回増枠)、 都市競争力の向上(外国企業や来訪 者を呼び込むための環境整備、許認可 手続きのワンストップ化など)
居住分野 完全失業率	4.5% (指数:69.7)	4.2% (指数:83.1)	失業なき労働移動の実現(転職入職 率を2011年7.4%を9%に)
環境分野 再生可能エネルギーの比率	3.0% (指数:6.9)	3.4% (指数:9.0)	陸上及び洋上風力、太陽光、小水力、 地熱、バイオマス等の活用
交通・アクセス分野 国際線直行便就航都市数	18都市 (指数:28.6)	19都市 (指数:30.2)	一体的な保税地域の設置の推進(国 際的な物流機能を有している港・空港 を一体的な輸出入基地化)
経済分野 世界トップ300企業	4,191点 (スコア:100)	3,850点 (スコア:85.9)	・外国人を含めた起業・開業を促進する ための「ワンストップセンター」の設立 ・グローバル金融監督機能の強化(金 融・資本市場を真のグローバルセン ター化)
研究・開発分野 世界トップ200大学	247点 (スコア:33.4)	255点 (スコア:29.6)	・大学のガバナンス改革をさらに推進 するための新たな仕組みの検討 ・今後10年間で世界大学ランキング トップ100に我が国の大学10校以上
文化・交流分野 コンテンツ輸出額	1,368万ドル (スコア:1.4)	1,027万ドル (スコア:0.9)	・2018年までに放送コンテンツ関連海 外売上高を現在の3倍へ

※「日本再興戦略」(平成25年6月)、「成長戦略進化のための今後の検討方針」(平成26年1月)、「日本再興戦略 改訂2014」(平成26年6月)の記載内容から作成

都市における生活において、私たちは、快適さ、安らぎ、興奮等を感じている。言い換えると、都市空間には「人間の感性に訴える力」が備わっているといえる。そこで、この力を「都市の感性価値」と定義し、6つの構成要素(効率、正確・迅速、安全・安心、多様、ホスピタリティ、新陳代謝)を設定した上で、これに対応する指標を収集し評価を行っている。



現在、収集を行っている約40の感性価値評価指標のうち、11指標を既存のGPCIに組み入れ、40都市に関して感性価値を一部加味した都市総合力ランキング (GPCI+) を行った。



### 世界の都市総合力ランキングとは

「世界の都市総合力ランキング」(Global Power City Index) は、地球規模で展開される都市間競争下において、より魅力的でクリエイティブな人々や企業を世界中から惹きつける、いわば都市の“磁力”こそが「都市の総合力」であるとの観点に立ち、世界の主要都市の総合力を評価し、順位付けしたものである。なお、都市別の指標や分析についてより詳細に掲載した「GPCI-2014YEARBOOK」を2014年12月刊行予定。

### 一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所とは

森ビル株式会社の寄付により設立された財団法人において、グローバルな視点からの“都市戦略研究”に取り組むことを目的に2008年に設置された研究所。世界の都市を対象に、都市空間のみならず環境・社会・政治・経済など様々な角度から都市の現状や将来に関する調査研究を行い、成果は世界に向けて発信している。

本件に関するお問合せ

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所  
TEL: 03-6406-6800 FAX: 03-3224-7227  
http://www.mori-m-foundation.or.jp

担当: 大和、佐々木、浜田  
Email: info@mori-m-foundation.or.jp